・建築物の耐震改修の促進に関する法律附則第3条第3項において準用する同法第9条の規定に基づき、耐震診断の結果を公表します。

No.	建築物の名称 ※1	建築物の名称 ※1 建築物の位置 建築			耐震診断の方法の名称			主要な部分の		安全性 の評価	耐震改修等の予定 ※6		備考
140.	産業物の石が 次1	※ 2	用途		10	15 B		i結果		¾4,5 (I,Ⅱ,Ⅲ)	内容	実施時期	ш'n
215	池尻小学校	池尻2-4-10	小学校	①棟 1~3階	一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄筋コン 5-3 クリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診 断法」(2017年版)	IS/ISO	1.03	CT·SD	0.83	ш			
210			7.71	⑭棟 1~3階	一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄筋コン 5-3 クリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診 断法」(2017年版)	IS/ISO	1.13	CT·SD	0.93	ш			
210	山崎小学校	梅丘3-9-1	小学校	②棟 1~3階	一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄筋コン 5-2 クリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診 断法」(1990年版)	IS/ISO	1.10	CT·SD	0.32	ш			
210		144110 3 1	7.7-12	③棟 1~3階	一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄筋コン 5-2 クリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診 断法」(1990年版)	IS/ISO	1.28	CT·SD	0.61	ш			
223	東玉川小学校	奥沢1-1-1	小学校	①棟 1~3階	一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄筋コン 5-3 クリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診 断法」(20017年版)	IS/ISO	1.04	CT·SD	0.79	ш			
220	来亚州小子·汉		1, 1-1%	③棟 1~3階	一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄筋コン 5-3 クリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診 断法」(2017年版)	IS/ISO	1.01	CT·SD	0.78	ш			
				②棟 1~3階	一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄筋コン 5-3 クリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診 断法」(2001年版)	IS/ISO	1.03	CTU·SD	0.43	ш			
221	奥沢小学校	奥沢3-1-1	小学校	④棟 1~3階	一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄筋コン 5-3 クリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診 断法」(2001年版)	IS/ISO	1.13	CTU·SD	0.88	ш			
				⑫棟 1~3階	一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄筋コン 5-3 クリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診 断法」(2001年版)	IS/ISO	1.24	CTU·SD	0.41	ш			
				⑯棟 1∼3階	一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄筋コン 5-3 クリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診 断法」(2001年版)	IS/ISO	1.08	CTU·SD	0.61	ш			
222	尾山台小学校	尾山台3-11-1	小学校	®棟 1~2階	一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄筋コン 5-3 クリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診 断法」(2001年版)	IS/ISO	1.05	CTU·SD	0.46	ш			
				②⑩棟 1~3階	一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄筋コン 5-3 クリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診 断法」(2001年版)	IS/ISO	1.16	CTU·SD	0.93	ш			

- ※1 建築物の位置については、報告された地名地番又は住宅表示のいずれかで記載してる。
- ※2 建築物の用途については、要緊急安全確認大規模建築物の要件(建築物の耐震改修の促進に関する法律施行令附則第2条)に定める用途(同施行令第8条第1項第1号から第19条)に該当する主な用途を記載している。
- ※3 地震に対する安全性の評価の結果については、建築物の各階・各方向の最小の値(ただし、階数に含まれない搭屋の値は除く。)を記載している。
- ※4 建築物の安全性の評価に用いる係数(Z、Rt、G、U)は備考欄に記載がない場合は1.0である。なお、1.0以外の場合は、建築物の所有者から報告された数値を備考欄に記載している。
- ※5 構造耐力上主要な部分の地震に対する安全性については、建築物の所有者から報告された耐震診断の結果を平成27年12月11日国住指第3435号別表に当てはめたものである。
 - I. 大規模の地震※の震動及び衝撃に対して倒壊し、又は崩壊する危険性が高い。
 - Ⅱ 大規模の地震*の震動及び衝撃に対して倒壊し、又は崩壊する危険性がある。
 - Ⅲ. 大規模の地震※の震動及び衝撃に対して倒壊し、又は崩壊する危険性が低い。
 - ※ 震度6強から7に達する程度の大規模の地震
- いずれの区分に該当する場合であっても、違法に建築されたものや劣化が放置されたものでない限りは、震度5強程度の中規模地震に対して損傷が生じるおそれは少なく、倒壊するおそれはないとされている。
- ※6 耐震改修等の予定は、具体的な実施時期が報告された場合のみ記載している。
- ※7 所有者が耐震改修実施済であることの公表を希望する場合、備考に記載している。

・建築物の耐震改修の促進に関する法律附則第3条第3項において準用する同法第9条の規定に基づき、耐震診断の結果を公表します。

No.	建築物の名称 ※1	建築物の位置	建築物の			計事 診解の七注の名称			主要な部分の る安全性の		安全性 の評価	耐震改修等	等の予定 ※6	備者
INO.	産業物の石柳 次 1	% 2	用途		耐震診断の方法の名称				i結果		%4、5 (Ⅰ、Ⅱ、Ⅲ)	内容	実施時期	畑つ
236	武蔵丘小学校	北烏山1-47-11	小学校	①棟 1~3階		一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」(2017年版)	IS/ISO	1.02	CT·SD	0.79	ш			
				①棟 1~2階	5-3	一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」(2001年版)	IS/ISO	1.80	CTU·SD	1.37	ш			
205	池之上小学校仮校舎 (旧北沢小学校)	北沢4-32-20	小学校	③棟 1~2階	5-3	一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」(2001年版)	IS/ISO	1.06	CTU·SD	0.81	ш			
				④棟 1~3階	5-3	一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」(2001年版)	IS/ISO	1.00	CTU·SD	0.84	ш			
235	喜多見小学校	喜多見3-11-1	小学校	①棟 1~3階		一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」(2017年版)	IS/ISO	1.07	CT·SD	0.81	ш			
231	砧小学校	喜多見6-9-1	小学校	②棟 1~3階	5-3	一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」(2001年版)	IS/ISO	1.01	CTU·SD	0.77	ш			
231	11ロハチ1女	苦夕兄0-9-1	小子权	⑤棟 1~3階		一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」(2001年版)	IS/ISO	1.04	CTU·SD	0.79	ш			
000	烏山小学校	給田1-2-1	小学校	①棟 1~3階		一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄筋コン クリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診 断法」(1990年版)	IS/ISO	1.01	CT·SD	0.75	ш			
228			小子校	②棟 1~3階	5-2	一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」(1990年版)	IS/ISO	1.07	CT·SD	0.69	ш			
220	然	±2	小学坛	①棟 1~3階	5-3	一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄筋コン クリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診 断法」(2017年版)	IS/ISO	1.08	CT·SD	0.77	ш			
239	笹原小学校	桜丘5-19-1	i-19-1 小学校	②棟 1~3階	5-3	一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」(2017年版)	IS/ISO	1.35	CT·SD	0.83	ш			

- ※1 建築物の位置については、報告された地名地番又は住宅表示のいずれかで記載してる。
- ※2 建築物の用途については、要緊急安全確認大規模建築物の要件(建築物の耐震改修の促進に関する法律施行令附則第2条)に定める用途(同施行令第8条第1項第1号から第19条)に該当する主な用途を記載している。
- ※3 地震に対する安全性の評価の結果については、建築物の各階・各方向の最小の値(ただし、階数に含まれない搭屋の値は除く。)を記載している。
- ※4 建築物の安全性の評価に用いる係数(Z、Rt、G、U)は備考欄に記載がない場合は1.0である。なお、1.0以外の場合は、建築物の所有者から報告された数値を備考欄に記載している。
- ※5 構造耐力上主要な部分の地震に対する安全性については、建築物の所有者から報告された耐震診断の結果を平成27年12月11日国住指第3435号別表に当てはめたものである。
 - Ⅰ. 大規模の地震※の震動及び衝撃に対して倒壊し、又は崩壊する危険性が高い。
 - Ⅱ. 大規模の地震※の震動及び衝撃に対して倒壊し、又は崩壊する危険性がある。
 - Ⅲ. 大規模の地震※の震動及び衝撃に対して倒壊し、又は崩壊する危険性が低い。
 - ※ 震度6強から7に達する程度の大規模の地震
 - いずれの区分に該当する場合であっても、違法に建築されたものや劣化が放置されたものでない限りは、震度5強程度の中規模地震に対して損傷が生じるおそれは少なく、倒壊するおそれはないとされている。
- ※6 耐震改修等の予定は、具体的な実施時期が報告された場合のみ記載している。
- ※7 所有者が耐震改修実施済であることの公表を希望する場合、備考に記載している。

・建築物の耐震改修の促進に関する法律附則第3条第3項において準用する同法第9条の規定に基づき、耐震診断の結果を公表します。

No.	建築物の名称 ※1	建築物の位置	建築物の			耐震診断の方法の名称			主要な部分の る安全性の		安全性 の評価	耐震改修等の予定 ※6		備考
140.	産業物の石物 本「	※ 2	用途			메기 12조리グ 타기 오기기 1조 오기 기기 기기	2012		結果		※4、5 (Ⅰ、Ⅱ、Ⅲ)	内容	実施時期	C. Wi
				③棟 1~3階	5-3	一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄筋コン クリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診 新法」(2017年版)	IS/ISO	1.09	CT·SD	0.85	ш			
200	経堂小学校	桜上水1-23-3	小学校	①棟 1~3階	5-3	一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄筋コン ウリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診 新法」(2017年版)	IS/ISO	1.03	CT·SD	0.61	ш			
200		按工小1-23-3	小子权	④棟 1~3階	5-3	一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄筋コン ウリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診 新法」(2017年版)	IS/ISO	S/ISO 1.08 CT·SD 0.84	ш					
				⑯棟 1~3階	5-3	一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄筋コン ウリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診 新法」(2017年版)	IS/ISO	1.09	CT·SD	0.86	ш			
213	三軒茶屋小学校 三軒茶	三軒茶屋2-42-1	小学校	②棟 1~4階	5-3	一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄筋コン ウリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診 新法」(2017年版)	IS/ISO	1.01	CT·SD	0.82	ш			
210			17-7-12	⑪棟 1~2階	5-3	一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄筋コン ウリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診 新法」(2017年版)	IS/ISO	1.17	CT·SD	0.93	ш			
				②棟 1~3階	5-2	一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄筋コン ウリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診 新法」(1990年版)	IS/ISO	1.57	CT·SD	0.48	ш			
206	駒繋小学校	下馬1-42-12	小学校	④棟 1~3階	5-2	一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄筋コン ウリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診 新法」(1990年版)	IS/ISO	1.05	CT·SD	0.35	ш			
				③棟 1~3階	5-2	一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄筋コン クリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診 新法」(1990年版)	IS/ISO	1.11	CT·SD	0.38	ш			
217	李沢小学校	第冊1−4−24	小学校	④棟 1~3階	5-3	一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄筋コン ウリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診 新法」(2001年版)	IS/ISO	1.07	CTU·SD	0.82	ш			
217	深沢小学校	新町1-4-24	7.71	⑤棟 1~3階	5-3	一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄筋コン クリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診 新法」(2001年版)	IS/ISO	1.07	CTU·SD	0.82	ш			

- ※1 建築物の位置については、報告された地名地番又は住宅表示のいずれかで記載してる。
- ※2 建築物の用途については、要緊急安全確認大規模建築物の要件(建築物の耐震改修の促進に関する法律施行令附則第2条)に定める用途(同施行令第8条第1項第1号から第19条)に該当する主な用途を記載している。
- ※3 地震に対する安全性の評価の結果については、建築物の各階・各方向の最小の値(ただし、階数に含まれない搭屋の値は除く。)を記載している。
- ※4 建築物の安全性の評価に用いる係数(Z、Rt、G、U)は備考欄に記載がない場合は1.0である。なお、1.0以外の場合は、建築物の所有者から報告された数値を備考欄に記載している。
- ※5 構造耐力上主要な部分の地震に対する安全性については、建築物の所有者から報告された耐震診断の結果を平成27年12月11日国住指第3435号別表に当てはめたものである。
 - I. 大規模の地震*の震動及び衝撃に対して倒壊し、又は崩壊する危険性が高い。
 - Ⅱ. 大規模の地震※の震動及び衝撃に対して倒壊し、又は崩壊する危険性がある。
 - Ⅲ. 大規模の地震※の震動及び衝撃に対して倒壊し、又は崩壊する危険性が低い。
 - ※ 震度6強から7に達する程度の大規模の地震
 - いずれの区分に該当する場合であっても、違法に建築されたものや劣化が放置されたものでない限りは、震度5強程度の中規模地震に対して損傷が生じるおそれは少なく、倒壊するおそれはないとされている。
- ※6 耐震改修等の予定は、具体的な実施時期が報告された場合のみ記載している。
- ※7 所有者が耐震改修実施済であることの公表を希望する場合、備考に記載している。

・建築物の耐震改修の促進に関する法律附則第3条第3項において準用する同法第9条の規定に基づき、耐震診断の結果を公表します。

No.	建築物の名称 ※1	建築物の位置	建築物の	耐震診断の方法の名称					主要な部分の る安全性の		安全性 の評価	耐震改修等	等の予定 ※6	備考
140.	産業物の石物 本工	※ 2	用途			IIII かた ログ は マンノブ / ユンノー 1小	70 hx		i結果		※4、5 (I、Ⅱ、Ⅲ)	内容	実施時期	υ Π "Ό
222	明正小学校	成城3-3-1	小学校	⑤棟 1~3階	5-3	一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄筋コン クリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診 断法」(2001年版)	IS/ISO	1.07	CTU·SD	0.81	ш			
232	91E-1 1 IX	JJC, JJC, 3-3-1	小子权	②棟 1~3階	5-3	一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」(2001年版)	IS/ISO	1.03	CTU·SD	0.78	Ш			
234	F歳小学校 [成城9-6-1	小学校	①棟 1~3階	5-3	一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄筋コン クリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診 断法」(2001年版)	IS/ISO	1.07	CTU·SD	0.89	Ш			
254	下嫁小子於	19,49,5	小子权	⑯棟 1~3階	5-3	一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄筋コン クリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診 断法」(2001年版)	IS/ISO	1.04	CTU·SD	0.88	ш			
		祖師谷3-49-1 小学		①棟 1~3階	5-2	一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄筋コン クリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診 断法」(1990年版)	IS/ISO	2.14	CT·SD	0.59	ш			
230			小学校	⑤棟 1~3階	5-2	一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄筋コン クリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診 断法」(1990年版)	IS/ISO	1.01	CT·SD	0.58	ш			
				⑯棟 1~3階	5-2	一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄筋コン クリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診 断法」(1990年版)	IS/ISO	1.27	CT·SD	0.46	ш			
212		仕田4-2-3	小学校	⑤棟 1~3階	5-3	一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄筋コン クリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診 断法」(2017年版)	IS/ISO	1.08	CT·SD	0.82	Ш			
		代田4-2-3	小学校	③棟 1~3階	5-3	一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄筋コン クリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診 断法」(2017年版)	IS/ISO	1.02	CT·SD	0.81	ш			

- ※1 建築物の位置については、報告された地名地番又は住宅表示のいずれかで記載してる。
- ※2 建築物の用途については、要緊急安全確認大規模建築物の要件(建築物の耐震改修の促進に関する法律施行令附則第2条)に定める用途(同施行令第8条第1項第1号から第19条)に該当する主な用途を記載している。
- ※3 地震に対する安全性の評価の結果については、建築物の各階・各方向の最小の値(ただし、階数に含まれない搭屋の値は除く。)を記載している。
- ※4 建築物の安全性の評価に用いる係数(Z、Rt、G、U)は備考欄に記載がない場合は1.0である。なお、1.0以外の場合は、建築物の所有者から報告された数値を備考欄に記載している。
- ※5 構造耐力上主要な部分の地震に対する安全性については、建築物の所有者から報告された耐震診断の結果を平成27年12月11日国住指第3435号別表に当てはめたものである。
 - I. 大規模の地震*の震動及び衝撃に対して倒壊し、又は崩壊する危険性が高い。
 - Ⅱ. 大規模の地震※の震動及び衝撃に対して倒壊し、又は崩壊する危険性がある。
 - Ⅲ. 大規模の地震※の震動及び衝撃に対して倒壊し、又は崩壊する危険性が低い。
 - ※ 震度6強から7に達する程度の大規模の地震
- いずれの区分に該当する場合であっても、違法に建築されたものや劣化が放置されたものでない限りは、震度5強程度の中規模地震に対して損傷が生じるおそれは少なく、倒壊するおそれはないとされている。
- ※6 耐震改修等の予定は、具体的な実施時期が報告された場合のみ記載している。
- ※7 所有者が耐震改修実施済であることの公表を希望する場合、備考に記載している。

・建築物の耐震改修の促進に関する法律附則第3条第3項において準用する同法第9条の規定に基づき、耐震診断の結果を公表します。

No.	建築物の名称 ※1	建築物の位置	建築物の			耐震診断の方法の名称			主要な部分の る安全性の		安全性 の評価	耐震改修等	等の予定 ※6	備考
NO.	建業物の石柳 次1	※ 2	用途			削反形例の万法の石や	地层	評価結果				内容	実施時期	1 拥 行
				②棟 1~4階	5-3	一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」(2001年版)	IS/ISO	1.07	CTU·SD	0.81	ш			
219	二子玉川小学校	玉川4-6-1	小学校	③棟 1~4階	5-3	一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」(2001年版)	IS/ISO	1.11	CTU·SD	0.84	ш			
				⑥棟 1~3階	5-3	一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」(2001年版)	IS/ISO	1.16	CTU·SD	0.67	ш			
220	八幡小学校	玉川田園調布2-	小学校	®棟 1~2階	5-3	一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」(2001年版)	IS/ISO	1.08	CTU·SD	0.81	ш			
220	八阳小子作	17-25	小 丁 水	202022棟 1~3階	5-3	一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」(2001年版)	IS/ISO	1.00	CTU·SD	0.58	ш			
007	玉堤小学校	玉堤2-11-1	小学校	①棟 1~3階	5-3	一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」(2001年版)	IS/ISO	1.04	CTU·SD	0.78	ш			
221	三、定小子仪	玉埞2-11-1	小子仪	④棟 1~3階	5-3	一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」(2001年版)	IS/ISO	1.08	CTU·SD	0.81	ш			
220	千歲台小学校	千歳台4-24-1	小学校	①棟 1~5階	5-3	一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」(2001年版)	IS/ISO	1.21	CTU·SD	0.46	ш			
238	丁麻ロ小子仪	一成 ロ 4-24-1	小子仪	⑩棟 1~3階	5-3	一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」(2017年版)	IS/ISO	1.14	CTU·SD	0.89	ш			
229	塚戸小学校	千歳台6-7-1	小学校	②棟 1~3階	5-3	一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」(2001年版)	IS/ISO	1.05	CTU·SD	0.80	ш			

- ※1 建築物の位置については、報告された地名地番又は住宅表示のいずれかで記載してる。
- ※2 建築物の用途については、要緊急安全確認大規模建築物の要件(建築物の耐震改修の促進に関する法律施行令附則第2条)に定める用途(同施行令第8条第1項第1号から第19条)に該当する主な用途を記載している。
- ※3 地震に対する安全性の評価の結果については、建築物の各階・各方向の最小の値(ただし、階数に含まれない搭屋の値は除く。)を記載している。
- ※4 建築物の安全性の評価に用いる係数(Z、Rt、G、U)は備考欄に記載がない場合は1.0である。なお、1.0以外の場合は、建築物の所有者から報告された数値を備考欄に記載している。
- ※5 構造耐力上主要な部分の地震に対する安全性については、建築物の所有者から報告された耐震診断の結果を平成27年12月11日国住指第3435号別表に当てはめたものである。
 - I. 大規模の地震※の震動及び衝撃に対して倒壊し、又は崩壊する危険性が高い。
 - Ⅱ. 大規模の地震※の震動及び衝撃に対して倒壊し、又は崩壊する危険性がある。
 - Ⅲ. 大規模の地震※の震動及び衝撃に対して倒壊し、又は崩壊する危険性が低い。
 - ※ 震度6強から7に達する程度の大規模の地震
- いずれの区分に該当する場合であっても、違法に建築されたものや劣化が放置されたものでない限りは、震度5強程度の中規模地震に対して損傷が生じるおそれは少なく、倒壊するおそれはないとされている。
- ※6 耐震改修等の予定は、具体的な実施時期が報告された場合のみ記載している。
- ※7 所有者が耐震改修実施済であることの公表を希望する場合、備考に記載している。

・建築物の耐震改修の促進に関する法律附則第3条第3項において準用する同法第9条の規定に基づき、耐震診断の結果を公表します。

No.	建築物の名称 ※1	建築物の位置	建築物の		耐震診断の方法の名称			主要な部分の る安全性の		安全性 の評価	耐震改修	等の予定 ※6	備考
140.	産業物の石物 次1	※ 2	用途		1111 展の日の月本の石や	地區		結果		※4、5 (Ⅰ、Ⅱ、Ⅲ)	内容	実施時期	JH 25
200	弦巻小学校	弦巻1-9-18	小学校	④棟 1~3階	一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄筋コ 5-3 クリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診 断法」(2001年版)	IS/ISO	1.05	CT·SD	0.81	ш			
209	及各小子权	及会1-9-10	小子权	⑭棟 1~3階	一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄筋コ 5-3 クリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診 断法」(2001年版)	IS/ISO	1.00	CT·SD	0.78	Ш			
				②棟 1~3階	一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄筋コ 5-3 クリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診 断法」(2001年版)	IS/ISO	1.01	CTU·SD	0.79	Ш			
	松丘小学校 弦巻3-23-12			②棟 1~3階	一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄筋コ 5-3 クリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診 断法」(2001年版)	IS/ISO	1.04	CTU·SD	0.80	ш			
214		弦巻3-23-12	小学校	④棟 1~3階	一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄筋コ 5-3 クリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診 断法」(2001年版)	IS/ISO	1.29	CTU·SD	0.50	ш			
				②棟 1~3階	一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄筋コ 5-3 クリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診 断法」(2001年版)	IS/ISO	2.37	CTU·SD	0.61	ш			
				②棟 1~2階	一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄筋コ 5-3 クリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診 断法」(2001年版)	IS/ISO	2.33	CTU·SD	0.87	ш			
225	等々力小学校	等々力7-26-1	小学校	⑪棟 1~3階	一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄筋コ 5-3 クリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診 断法」(2001年版)	IS/ISO	1.00	CTU·SD	0.75	ш			
223	4 () 1 () 1	4 ()) / 20 1	7.7-12	④棟 1~3階	一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄筋コ 5-3 クリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診 断法」(2001年版)	IS/ISO	1.08	CTU·SD	0.82	ш			
219	玉 川 小 学校	中町2-29-1	小学校	①棟 1~3階	一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄筋コ 5-3 クリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診 断法」(2001年版)	IS/ISO	1.08	CTU·SD	0.83	ш			
	玉川小学校	· 선배포지나산으로		⑥棟 1~3階	一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄筋コ 5-3 クリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診 断法」(2001年版)	IS/ISO	1.08	CTU·SD	0.44	Ш			

- ※1 建築物の位置については、報告された地名地番又は住宅表示のいずれかで記載してる。
- ※2 建築物の用途については、要緊急安全確認大規模建築物の要件(建築物の耐震改修の促進に関する法律施行令附則第2条)に定める用途(同施行令第8条第1項第1号から第19条)に該当する主な用途を記載している。
- ※3 地震に対する安全性の評価の結果については、建築物の各階・各方向の最小の値(ただし、階数に含まれない搭屋の値は除く。)を記載している。
- ※4 建築物の安全性の評価に用いる係数(Z、Rt、G、U)は備考欄に記載がない場合は1.0である。なお、1.0以外の場合は、建築物の所有者から報告された数値を備考欄に記載している。
- ※5 構造耐力上主要な部分の地震に対する安全性については、建築物の所有者から報告された耐震診断の結果を平成27年12月11日国住指第3435号別表に当てはめたものである。
 - Ⅰ. 大規模の地震※の震動及び衝撃に対して倒壊し、又は崩壊する危険性が高い。
 - Ⅱ. 大規模の地震※の震動及び衝撃に対して倒壊し、又は崩壊する危険性がある。
 - Ⅲ. 大規模の地震※の震動及び衝撃に対して倒壊し、又は崩壊する危険性が低い。
 - ※ 震度6強から7に達する程度の大規模の地震
- いずれの区分に該当する場合であっても、違法に建築されたものや劣化が放置されたものでない限りは、震度5強程度の中規模地震に対して損傷が生じるおそれは少なく、倒壊するおそれはないとされている。
- ※6 耐震改修等の予定は、具体的な実施時期が報告された場合のみ記載している。
- ※7 所有者が耐震改修実施済であることの公表を希望する場合、備考に記載している。

・建築物の耐震改修の促進に関する法律附則第3条第3項において準用する同法第9条の規定に基づき、耐震診断の結果を公表します。

No.	建築物の名称 ※1	建築物の位置	建築物の		構造耐力上主要な部分の 安全性 の評価 地震に対する安全性の	D予定 ※6 備考
INO.	建業物の石柳 次1	※ 2	用途			実施時期
				④棟 1~3階	一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄筋コン 5-3 クリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診 IS/ISO 1.16 CT·SD 0.93 Ⅲ 断法」(2017年版)	
203	型	野沢1-4-3	小学校	⑮棟 1~3階	一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄筋コン 5-3 クリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診 IS/ISO 1.05 CT・SD 0.81 Ⅲ 断法」(2017年版)	
				①棟 1~3階	一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄筋コン 5-3 クリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診 IS/ISO 1.05 CT・SD 0.82 Ⅲ 断法」(2017年版)	
				⑪棟 1~3階	一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄筋コン 5-3 クリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診 IS/ISO 1.07 CT・SD 0.82 Ⅲ 断法」(2017年版)	
211		野沢3-34-16	小学校	⑫棟 1~3階	一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄筋コン 5-3 クリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診 IS/ISO 1.33 CT・SD 0.82 Ⅲ 断法」(2017年版)	
				⑭棟 1~3階	一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄筋コン 5-3 クリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診 IS/ISO 1.05 CT・SD 0.80 Ⅲ 断法」(2017年版)	
237	希望丘小学校		小学校	①棟 1~4階	ー般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄筋コン 5-3 クリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診 IS/ISO 1.07 CT·SD 0.53 Ⅲ 断法」(2001年版) IS/ISO 1.07 CT·SD 0.53 Ⅲ	
237	布主止小子 牧	別は164 9 1	小子权	⑦棟 1~3階	ー般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄筋コン 5-3 クリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診 IS/ISO 1.03 CT·SD 0.52 Ⅲ 断法」(2001年版)	
				⑤棟 1~3階	一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄筋コン 5-3 クリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診 IS/ISO 1.03 CTU・SD 0.78 Ⅲ 断法」(2001年版)	
204	松原小学校	松原5-43-26	小学校	①棟 1~4階	一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄筋コン 5-3 クリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診 IS/ISO 1.27 CTU・SD 0.39 Ⅲ 断法」(2001年版)	
				①棟 1~2階	一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄筋コン 5-2 クリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診 IS/ISO 2.23 CTU・SD 0.32 Ⅲ 断法」(1990年版)	

- ※1 建築物の位置については、報告された地名地番又は住宅表示のいずれかで記載してる。
- ※2 建築物の用途については、要緊急安全確認大規模建築物の要件(建築物の耐震改修の促進に関する法律施行令附則第2条)に定める用途(同施行令第8条第1項第1号から第19条)に該当する主な用途を記載している。
- ※3 地震に対する安全性の評価の結果については、建築物の各階・各方向の最小の値(ただし、階数に含まれない搭屋の値は除く。)を記載している。
- ※4 建築物の安全性の評価に用いる係数(Z、Rt、G、U)は備考欄に記載がない場合は1.0である。なお、1.0以外の場合は、建築物の所有者から報告された数値を備考欄に記載している。
- ※5 構造耐力上主要な部分の地震に対する安全性については、建築物の所有者から報告された耐震診断の結果を平成27年12月11日国住指第3435号別表に当てはめたものである。
 - I. 大規模の地震※の震動及び衝撃に対して倒壊し、又は崩壊する危険性が高い。
 - Ⅱ. 大規模の地震※の震動及び衝撃に対して倒壊し、又は崩壊する危険性がある。
 - Ⅲ. 大規模の地震※の震動及び衝撃に対して倒壊し、又は崩壊する危険性が低い。
 - ※ 震度6強から7に達する程度の大規模の地震
 - いずれの区分に該当する場合であっても、違法に建築されたものや劣化が放置されたものでない限りは、震度5強程度の中規模地震に対して損傷が生じるおそれは少なく、倒壊するおそれはないとされている。
- ※6 耐震改修等の予定は、具体的な実施時期が報告された場合のみ記載している。
- ※7 所有者が耐震改修実施済であることの公表を希望する場合、備考に記載している。

・建築物の耐震改修の促進に関する法律附則第3条第3項において準用する同法第9条の規定に基づき、耐震診断の結果を公表します。

No.	建築物の名称 ※1	建築物の位置	建築物の		構造耐力上主要な部分の 安全性 耐震改修等の予定 ※6 耐震診断の方法の名称 地震に対する安全性の	# 考	
INO.	建業物の石柳 次1	※ 2	用途		・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	# <i>*</i> 5	
				⑨棟 1階	一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄筋コン 5-3 クリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診 IS/ISO 1.17 CTU·SD 0.81 Ⅲ		
224	桜町小学校	用賀1-5-1	小学校	⑦棟 1~3階	- 般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄筋コン 5-3 クリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診 IS/ISO 1.04 CTU・SD 0.60 Ⅲ 断法」(2001年版)		
				⑧棟 1~2階	一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄筋コン 5-3 クリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診 IS/ISO 1.53 CTU·SD 1.17 Ⅲ		
				③棟 1~3階	- 般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄筋コン 5-3 クリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診 IS/ISO 1.01 CTU・SD 0.77 Ⅲ 断法」(2001年版)		
226	用賀小学校	用賀6-4-1		小学校	⑧棟 1階	- 般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄筋コン 5-3 クリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診 IS/ISO 1.19 CTU・SD 0.91 Ⅲ 断法」(2001年版)	
220	用負小子校 用負 6-4-1	/U ¥ V T I	77.77	⑯棟 1~3階	一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄筋コン 5-3 クリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診 IS/ISO 1.13 CTU·SD 0.48 II II II II II II II		
				⑦棟 1~3階	一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄筋コン 5-3 クリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診 IS/ISO 1.00 CTU·SD 0.68 Ⅲ		

- ※1 建築物の位置については、報告された地名地番又は住宅表示のいずれかで記載してる。
- ※2 建築物の用途については、要緊急安全確認大規模建築物の要件(建築物の耐震改修の促進に関する法律施行令附則第2条)に定める用途(同施行令第8条第1項第1号から第19条)に該当する主な用途を記載している。
- ※3 地震に対する安全性の評価の結果については、建築物の各階・各方向の最小の値(ただし、階数に含まれない搭屋の値は除く。)を記載している。
- ※4 建築物の安全性の評価に用いる係数(Z、Rt、G、U)は備考欄に記載がない場合は1.0である。なお、1.0以外の場合は、建築物の所有者から報告された数値を備考欄に記載している。
- ※5 構造耐力上主要な部分の地震に対する安全性については、建築物の所有者から報告された耐震診断の結果を平成27年12月11日国住指第3435号別表に当てはめたものである。
 - Ⅰ. 大規模の地震※の震動及び衝撃に対して倒壊し、又は崩壊する危険性が高い。
 - Ⅱ. 大規模の地震※の震動及び衝撃に対して倒壊し、又は崩壊する危険性がある。
 - Ⅲ. 大規模の地震※の震動及び衝撃に対して倒壊し、又は崩壊する危険性が低い。
 - ※ 震度6強から7に達する程度の大規模の地震
 - いずれの区分に該当する場合であっても、違法に建築されたものや劣化が放置されたものでない限りは、震度5強程度の中規模地震に対して損傷が生じるおそれは少なく、倒壊するおそれはないとされている。
- ※6 耐震改修等の予定は、具体的な実施時期が報告された場合のみ記載している。
- ※7 所有者が耐震改修実施済であることの公表を希望する場合、備考に記載している。